



秋の交通安全やまびこ運動

期間 令和8年9月21日(月)から令和8年9月30日(水)

運動重点 4項目



① 横断歩道の安全確保と反射材用品の着用促進

夕暮れ時や夜間に外出するときは、明るい色の服を着たり、夜行反射材などの光るものを身につけて、自分の存在をアピールしましょう。

小さなお子さんから「目」と「手」と「心」を離さないようにしましょう。

② 夕暮れ時の早めのライト点灯と飲酒運転や「ながらスマホ」の根絶

ながらスマホは事故の危険が高まるため、運転中はスマホの利用をやめましょう。

飲酒運転や妨害運転等は重大事故の原因になる悪質で危険な行為ですので、絶対やめましょう。早めのライト点灯やこまめなハイビームの切り替えにより、歩行者を早期に発見して事故を防ぎましょう。

③ 自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールを理解・遵守の徹底

自転車の交通違反に交通反則通告制度が導入されました。自転車の交通ルールを守り、安全に利用しましょう。

交差点では一時停止・標識に従い、安全確認を確実にしましょう。

自転車・特定小型原動機付自転車に乗るときは、命を守るためにヘルメットを着用しましょう。

④ 高齢者の交通事故防止(長野県重点)



年齢を重ねるにつれて視野、筋力、反応速度等の身体機能が変化します。

ハンドル・アクセル・ブレーキの確実な操作と丁寧な安全確認をしましょう。

通り慣れた道であっても油断せず、しっかりと安全確認しましょう。

歩く速度が遅くなると、道路を横断する時間が長くなることから、十分に左右の安全を確認してから横断を始めましょう。

きのこ採り遭難防止 秋の遭難注意5報

例年9月から10月にかけて、県内ではきのこ採り目的で入山し、道迷いや急斜面での滑落により遭難する事案が多発しています。きのこ採りは、探すことに夢中になるあまり山奥へ入り込み、方向感覚を失い、現在地が分からなくなってしまうたり、危険な崖や斜面に入り込んでしまうことが多々あります。きのこ採りで入山する際は、登山と同じように「遭難するかもしれない」という危機感を持つとともに、単独での行動は避け、必ず家族や友人などに入山場所と予定知らせましょう。

- 1 単独入山、入山後の単独行動は避けましょう。
- 2 入山場所と予定を家族等に伝えましょう。
- 3 携帯電話やヘッドライトを持って行きましょう。
- 4 急な斜面に入り込まないようにしましょう。
- 5 熊などの野生動物に注意しましょう。

check!!

